

令和5年6月7日

ひばり学園の保護者様
関係者の皆様

福祉型児童発達支援センター ひばり学園 閉園延期について

薄暑の候、ひばり学園の保護者様、関係者の皆様におかれましては、お健やかに過ごしのこととお慶び申し上げます。又、平素は学園の運営に何かとご協力を賜り心より厚く御礼申し上げます。

ひばり学園につきましては、昨年12月に、令和6年3月末をもって閉園させていただく案内をさせていただきました。その後、保護者様、関係者の皆様へは、説明会のお時間をいただき、ひばり学園の状況、今後の運営等についてお話させていただきました。また、保護者様、関係者の皆様からは、多くのご意見をいただき、誠に有難うございました。聖ヨゼフ会といたしましても、糸井院長のもと、ひばり学園職員および各部署から職員が集まり、今後の運営について、慎重に検討を重ねてまいりました。

現在の状況といたしましては、

- ①ひばり学園の存続を希望されるご意見を保護者様、関係者の皆様を中心に多くいただいている。また、他の施設からも事業継続を要望されている。
- ②国の制度改革として、令和6年4月に児童発達支援センター（現在のひばり学園の事業形態）の大幅な制度見直しが予定されている。

以上の状況を考慮いたしますと、令和6年3月末での閉園につきましては延期とし、国より示される新しい制度を精査した上で、保護者様、関係者の皆様に貢献できるひばり学園の運営を再検討するべきであるという結論に至りました。

まずは、閉園の延期をお伝えいたします。また、令和6年4月以降の事業形態について、行政の方々とも情報交換を行いながら、継続的かつ慎重に検討を行い、あらためてご案内させていただきたいと存じます。

ひばり学園運営につきましては、何かとご心配等をおかけいたしますが、何卒、宜しくお願いいたします。

社会福祉法人聖ヨゼフ会
理事長 荻野 一茂
院長 糸井 利幸
事務部長 中村 雅幸